

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	JA越後中央品質向上・物流合理化施設	
建設地	南区 東長嶋字久ノ割1211番1外	
用途地域	指定なし	
建物用途	米穀低温貯蔵施設	
竣工年	2013年3月 予定	
敷地面積	11,104.89 m ²	
建築面積	6,903.80 m ²	
延床面積	6,977.50 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年9月19日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42}{40} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	2.5
			更新性	4.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

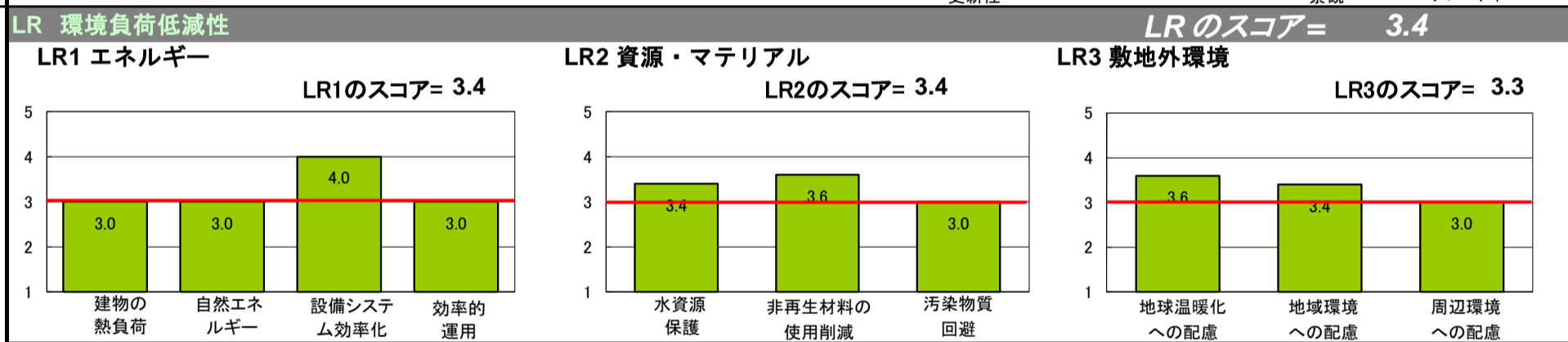
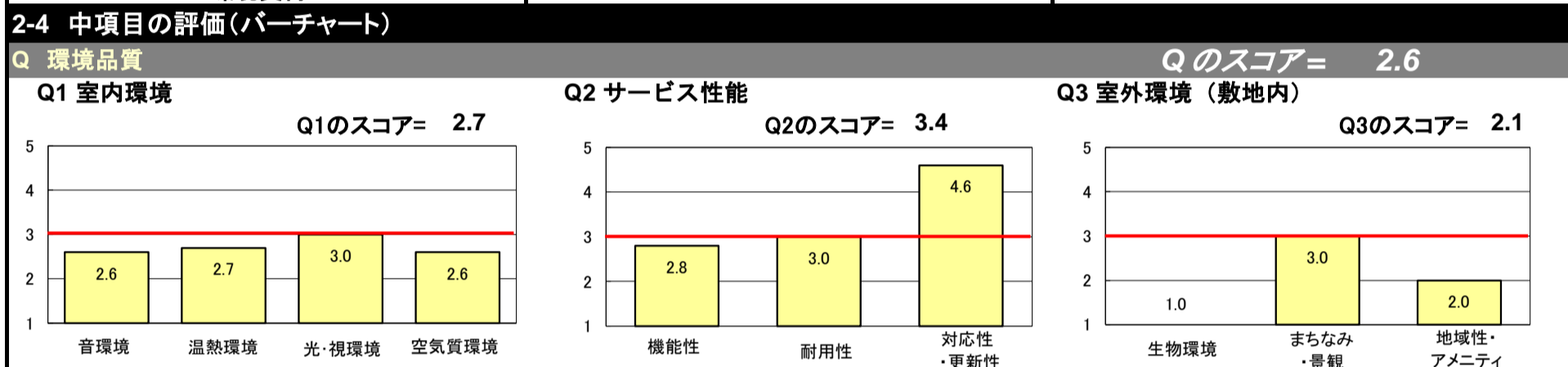
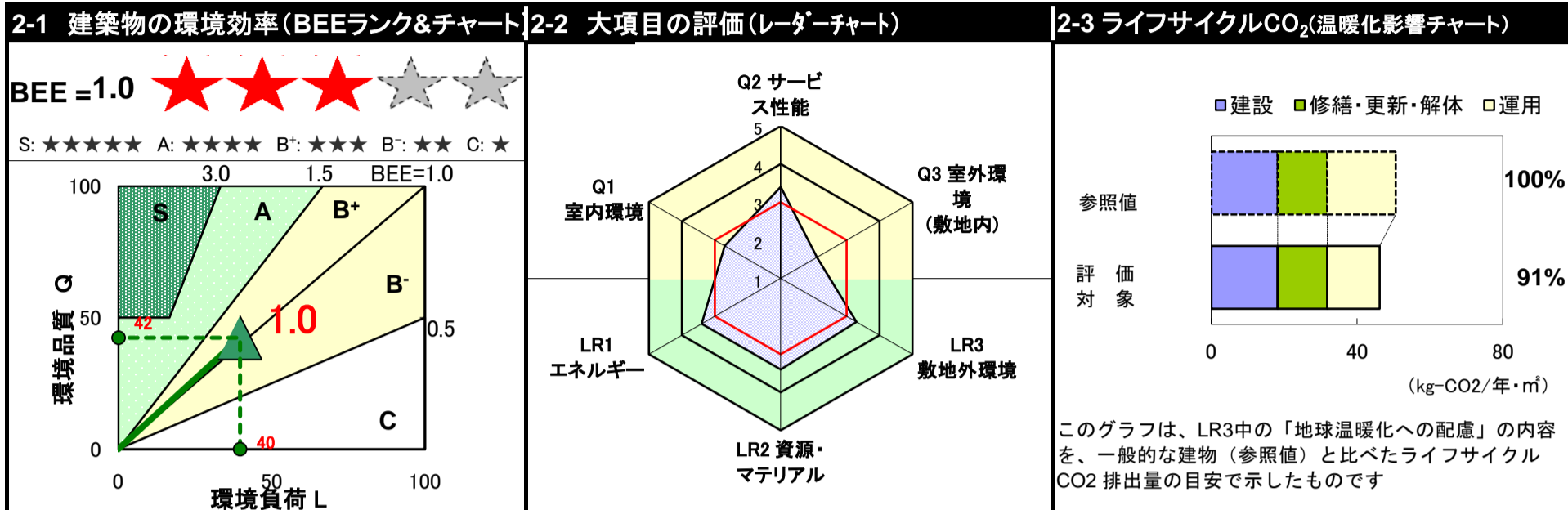
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

清掃が容易な材料の選定及び耐久性のある材料の採用によりライフサイクルコスト低減を図る。採光、換気、通風効果高まるよう窓を設けエネルギー負荷低減を図る。遮熱効果の高い屋根・外壁色の採用及び十分な断熱性を確保することにより空調負荷低減を図る。舗装面積を最小限とし、リサイクル材の採用により環境負荷低減に配慮。可能な限り緑地を設け雨水の地下浸透を図り、雨水排水負荷低減及び温熱環境や周辺環境に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

総合		その他
舗装面積を最小限とし、リサイクル材の採用により環境負荷低減に配慮。可能な限り緑地帯を設け周辺環境に配慮。遮熱効果の高い屋根・外壁色の採用及び十分な断熱性を確保することにより空調負荷低減を図る。		
Q1 室内環境 採光、換気、通風効果高まるよう窓を設けエネルギー負荷低減を図る。建築基準法に基づくシックハウス対策を行い室内環境向上に努める。	Q2 サービス性能 清掃が容易な材料の選定及び耐久性のある材料の採用によりライフサイクルコスト低減を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地面積を出来るだけ確保し、雨水の地下浸透を図り雨水排水負荷低減及び温熱環境に配慮。
LR1 エネルギー 十分な断熱性を確保し空調負荷低減を図る。高効率照明器具及びLED照明器具を採用し照明負荷削減を心掛けた。	LR2 資源・マテリアル 環境負荷低減を配慮し、再生材利用を心掛けた。	LR3 敷地外環境 外部照明は最小限とし周辺への光害抑制を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される